



今日は篠塚立夏隊員の卒業  
レポートです。中崎隊員にイ  
ンタビューしてもらいます。



地域おこし協力隊  
活動レポート

# 協力隊 が行く!

こんにちは。地域おこし協力隊の篠塚立夏です。3年間、たくさんの方々に支えられて任期満了を迎えることができました。本当に本当にありがとうございました。枕崎を離れる決断をしましたが、このご縁は一生物です!

**枕崎にきて楽しかったことは?**  
やはり、1年目に経験した最後の『きばらん海』が一番の思い出です。枕崎にこんなたくさんの方が来るなんて!と本当に驚きました。ARTSさんのライブを正面のやぐらから見たのですが、港が人にあふれ、現場が最高潮に盛り上がりつつある景色は、今でも鮮明に思い出すことができます。厳かに執り行われる神事や、多くの市民が主体となって参加する枕崎音頭、子ども神輿も印象的でした。みんなが心から楽しんでいる姿に、カメラのシャッターを切る手が止まりませんでした。また、300万円もの寄附金を集めて三尺玉花火を打ち上げるしきたりにも衝撃を受けました。町を離れた人も含め、みんなで一丸となって地元枕崎を盛り上げていこうという気概がとても頼もしく感じたのを覚えています。サイレンが鳴った後の静けさの中で打ち上がった三尺玉は、見た目の美しさはもちろん、大勢の人たちの気持ち一つになったようで、感動もひとしおでした。この大切な祭りの文化を継承し続けている市民の皆さんに敬意を表したいと思います。  
**活動の中でこだわった所はありますか?**  
縁もゆかりもない、誰一人として知り合いもない土地だったので、できる限り多くの人と関わり

たいと思いい、1年目はあらゆるイベントに積極的に参加するようにしました。そこでできたつながりが、コロナ禍に突入した2年目、3年目の活動で生きてきたと思います。強い想いを持って取り組んだ『REHOME DELI』(通販サイト)や『枕崎職人手帖(インスタグラム)』、『枕崎ことば』(フリーペーパー)に携わってくださった方々には、感謝しかありません。  
**これからの「予定」は?**  
起業家育成を通して地域経済の活性化に貢献するベンチャー企業に就職予定です。協力隊の活動で培った広報のスキルを生かしてがんばっていきたくと考えています。拠点は東京なので枕崎を離れることになりましたが、このご縁を忘れることなく、ずっとずっと末永くつながっていければと思っています(東京で修行を積んで、2年以内に九州に戻ってくるのが目標です)。世間知らずのよそ者を快く受け入れてくださり、本当にありがとうございました。おかげさまで枕崎は第二の故郷となりました。またすぐ遊びに帰ってきます。そのときはぜひ飲ん方に誘ってくださいね!



地域おこし協力隊  
活動レポート

# 協力隊 が行く!

今日は中崎千晶隊員の卒業  
レポートです。篠塚隊員にイ  
ンタビューしてもらいます。



地域おこし協力隊の中崎千晶です。早いもので3年間の協力隊も無事卒業を迎えることになりました。半分以上がコロナ禍での活動でしたが、作物はスクスク育てることができました。枕崎で暮らしていますので、今後ともよろしくお願ひします。



**活動中一番頑張ったことは?**  
植物を育てたことのない状態から農業を始めたことです。畑を借り、土と触れ合うところからのスタートでした。着任前からハーブを育てたいと考えていたので、葉を使わない農法を地域の方に教えていただきながら知識と経験を取得していきました。そのおかげで、今では自分一人で土づくりから栽培、収穫、加工までできるようになりました。親身に面倒を見てくださった方々には、本当に感謝しています。  
**そもそもなぜハーブづくりを?**  
枕崎出身の夫の実家から送られてくる野菜の美味しさに驚いたことがきっかけです。鹿児島島の土地で育つ食物のポテンシャルの高さに感銘を受け、大好きなアジア料理に使われるパクチーやバジルなどを作ってみたくと考えました。ハーブは鹿児島島のスーパーでは手に入りづらいこともあり、販売としてやってみればと前々から思っていたんです。ここ最近ハーブは味付けに利用されることがあり、味の変化もありつつ塩分を控えたりすることができると、健康志向が高い方には重宝されます。また、枕崎市は鯉節工場などアジア圏からの外国人技能実習生が多く、彼らはハーブを使って料理をします。少しでも故郷の味を提供したいこともあり、アジア系ハーブにも注目しています。

**卒業後どんなことをする予定?**  
農業の技術を多角的に学び、さらに経験を積むため、5月から1年間農業研修に通う予定です。ピーマンや芋の栽培、トラクターの運転練習などがみつちりカリキユラムに盛り込まれているため、精一杯頑張ろうと思っています。  
2年目以降はフルで自分の農業・加工に取り組み、ハーブ関連商品をつくって販売まで一貫して行いたいと考えています。また、鯉節をはじめとした枕崎らしい特産品を活用した商品開発にも挑戦したいです。イベントやインターネットなど、さまざまな手段を駆使してより多くの方々に商品をお届けできるようイメージを膨らませています。  
**枕崎の皆さんにメッセージを!**  
夢は「枕崎といえど鯉節。ただハーブもいよいよね」と思っています。ただのこと。ハーブを通して枕崎の魅力を広げていきたいと思います。『No.634』という屋号で枕崎市でも商品を販売していきますので、見かけたらぜひお手にとっていただけるとうれしです。これから家族共々枕崎で暮らしていく予定なので、末長くどうぞよろしくお願ひします!



## スポーツ・文化 イベント情報

南浜館  
開 9:00 ~ 17:00  
※入館は16:30まで  
休 毎週月曜日  
※月曜日が祝祭日の場合は翌日  
問 スポーツ・文化振興課  
TEL72-9998



## 「除菌ウエットティッシュ」の協賛 をいただきました

枕崎市国体実行委員会では、かごしま国体「なぎなた競技」のPRに向けた除菌ウエットティッシュの作成にあたり、第一生命保険㈱枕崎営業オフィスから協賛をいただきました。南浜館と総合体育館にて配布していますので、ご自由にお取りください。



## 「しゃらくたてがみ写真展」・「枕崎の遺跡展~松之尾遺跡」

枕崎の写真グループ「しゃらくたてがみ」の写真展および枕崎の松之尾遺跡の遺物や発掘の経緯の紹介を行う展覧会を開催します。

- 会期
  - ・しゃらくたてがみ展 3月1日(火)~27日(日)
  - ・枕崎の遺跡展 3月1日(火)~21日(月・祝)
- 観覧料 無料

## 第3回枕崎国際芸術賞展 今秋開催!



詳しくはこちらから→

- <審査員> (敬称略)
- ・絹谷幸二 (画家・日本芸術院会員・東京藝術大学名誉教授)
  - ・保科豊巳 (画家・東京藝術大学名誉教授)
  - ・河口洋一郎 (アーティスト・東京大学名誉教授)
  - ・上原利丸 (染色アーティスト・東京藝術大学美術学部教授)

## 市長 コラム vol.35



本を読む。(きつかけ)  
こんにちは、前田祝成です。  
「趣味は読書です」  
趣味を尋ねられたら、そう答えるようにしています。とは言っても、「本を読む」ということを趣味と言えるようになったのは、大学生になってからです。  
子どもの頃は、ほとんど本を読んだことのない子どもでした。なぜ本を読むようになったのかというと、必要に迫られて読み始めたわけではなく、本を読む空気の中に入っていたから、というのが読み始めた理由のような気がします。東京で学生生活を始めて、電車に乗る生活が始まったのですが、「本を読む空気の中」というのが東京で乗る電車の中だったので。現在は、電車に乗るとほとんどの人がスマートフォンを見ているのですが、私が学生生活を始めた昭和の終わりの頃の東京の電車の中では、多くの人が本を読んでいた。その環境の中に身を置いたときに「読まなければ」という気持ちが湧いてきました。さて、何を読んだらいいかわからないまま近くの本屋に入りました。それまで野球やサッカーといったスポーツの本に目がいき、早速、書店で立ち読みを始めました。当時、プロ野球の広島東洋カープでトップバッターとして活躍していた高橋慶彦という選手にまつわる話の短編小説なのですが、10代後半の私には痺れる面白い内容の小説で、私はその日からその本の作家の大ファンになってしまいました。  
以来、本を読むことが私の生活の一部になっていきました。私の読書の習慣は10代後半から始まりましたが、小学生、中学生の皆さんには、できるだけ早くに本に親しんでもらいたいと思います。昨年、市立図書館もリニューアルされて、より使いやすくなっています。ぜひ、読書を楽しんでください。